

# 平戸市介護人材実態調査 結果報告書

令和元年度

## I. 調査概要

### (1) 調査の目的

本調査は、地域内の介護人材の実態を個別に把握することにより、性別、年齢別、資格の有無などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取り組みなどを検討するための基礎資料とすることを目的としています。

### (2) 調査対象者

市内の介護保険施設及び居宅介護サービス事業所

### (3) 調査方法と調査期間

調査方法：郵送配布、郵送またはメール回収

調査期間：令和2年1月16日～令和2年2月14日

### (4) 回収結果

回収事業所数	回収率
63	91.3%

※本調査の配布事業所は69事業所ですが、介護老人福祉施設と短期入所生活介護事業所を併設する場合や、訪問介護と訪問型サービス（総合事業）、又は、通所介護と通所型サービス（総合事業）を一体的にサービス提供している場合など、分けて回答することが難しい場合は、本体施設でまとめて回答をお願いしています。そのため、回収事業所数は配布事業所数より少なくなっています。

### (5) 報告書を見る際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表します。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 本調査の分析において、より傾向を把握しやすくすることを目的として、以下のように分類を行っています。

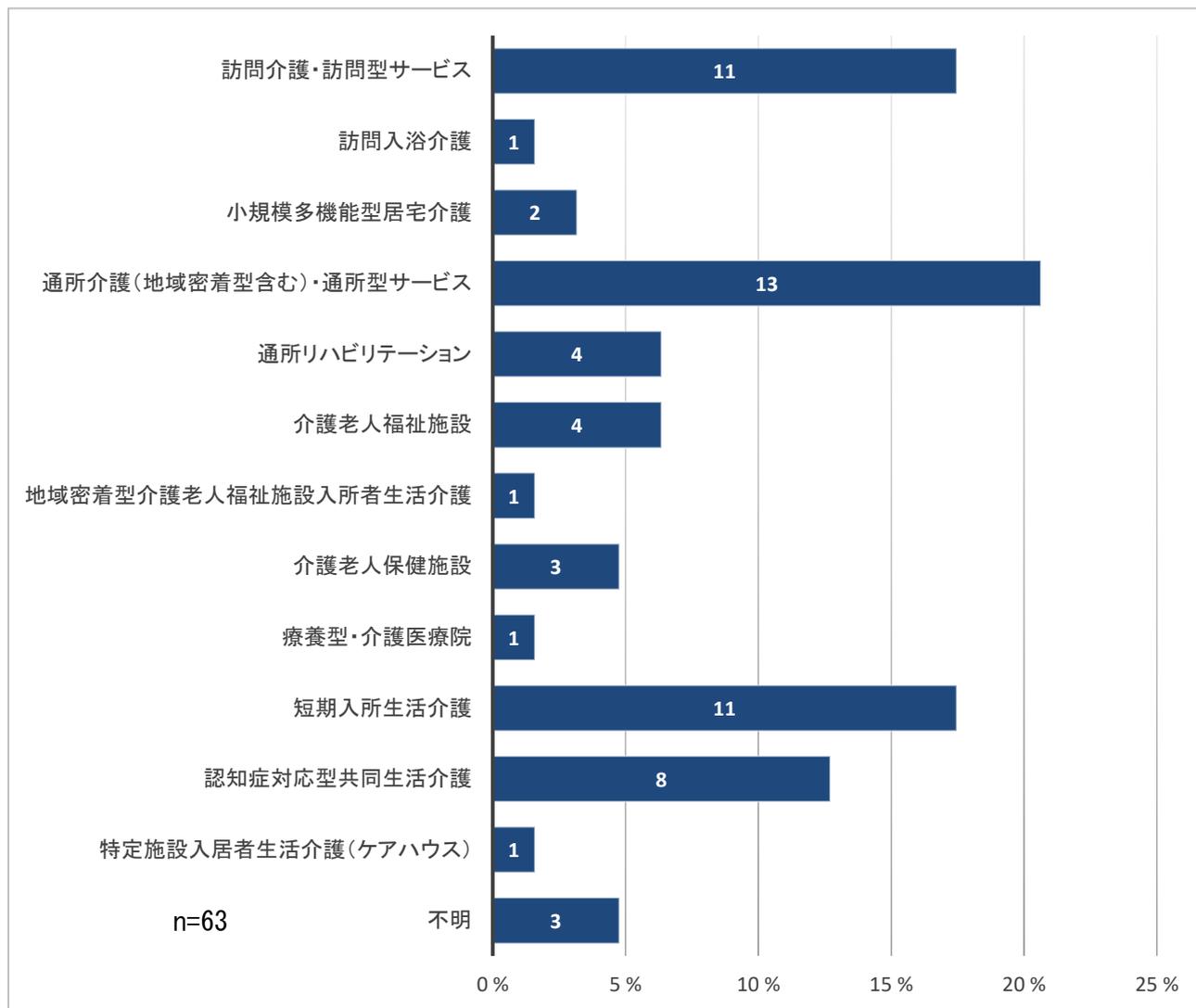
訪問系	訪問介護・訪問型サービス、訪問入浴介護、小規模多機能型居宅介護
通所系	通所介護（地域密着型含む）・通所型サービス、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護
施設・居住系	介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護、介護老人保健施設、療養型・介護医療院、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護（ケアハウス）、養護老人ホーム

## Ⅱ. 集計結果

### 1. 事業所の概要について

問1 該当するサービス種別をご回答ください。(1つのみ)

介護サービスの種類は、「通所介護（地域密着型含む）・通所型サービス」が21%で、次いで「訪問介護・訪問型サービス」「短期入所生活介護」がそれぞれ17%でした。



## 2. 介護職員の属性について

問2 貴施設等に所属する介護職員について伺います。

介護職員の年齢は、男性は30歳代が最も多く32.4%を占めています。女性は50歳代が31.3%です。男女とも50歳以上の職員が全体の半数以上を占めています。また、訪問介護など訪問系のサービスでは、60歳代以上が3分の2を占めています。

介護職員の雇用形態は、男性は正規職員が90.5%占めており、女性は非正規職員が32.5%を占めています。また、訪問系サービスは、正規職員と非正規職員が半数ずつとなっています。

### ◆年齢構成

年齢構成 (人数)	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
介護職員	0.3% (2)	7.8% (51)	18.9% (124)	22.3% (146)	29.2% (191)	20.6% (135)	0.9% (6)
男	0% (0)	17.1% (18)	32.4% (34)	25.7% (27)	18.1% (19)	6.7% (7)	0% (0)
女	0.4% (2)	6.0% (33)	16.4% (90)	21.6% (119)	31.3% (172)	23.3% (128)	1.0% (6)
訪問系	1.6% (2)	6.6% (8)	13.2% (16)	14.8% (18)	31.1% (38)	31.1% (38)	1.6% (2)
通所系	0% (0)	5.3% (9)	19.3% (33)	26.9% (46)	27.5% (47)	19.9% (34)	1.1% (2)
施設・居住系	0% (0)	9.4% (34)	20.7% (75)	22.7% (82)	29.3% (106)	17.4% (63)	0.5% (2)

### ◆雇用形態

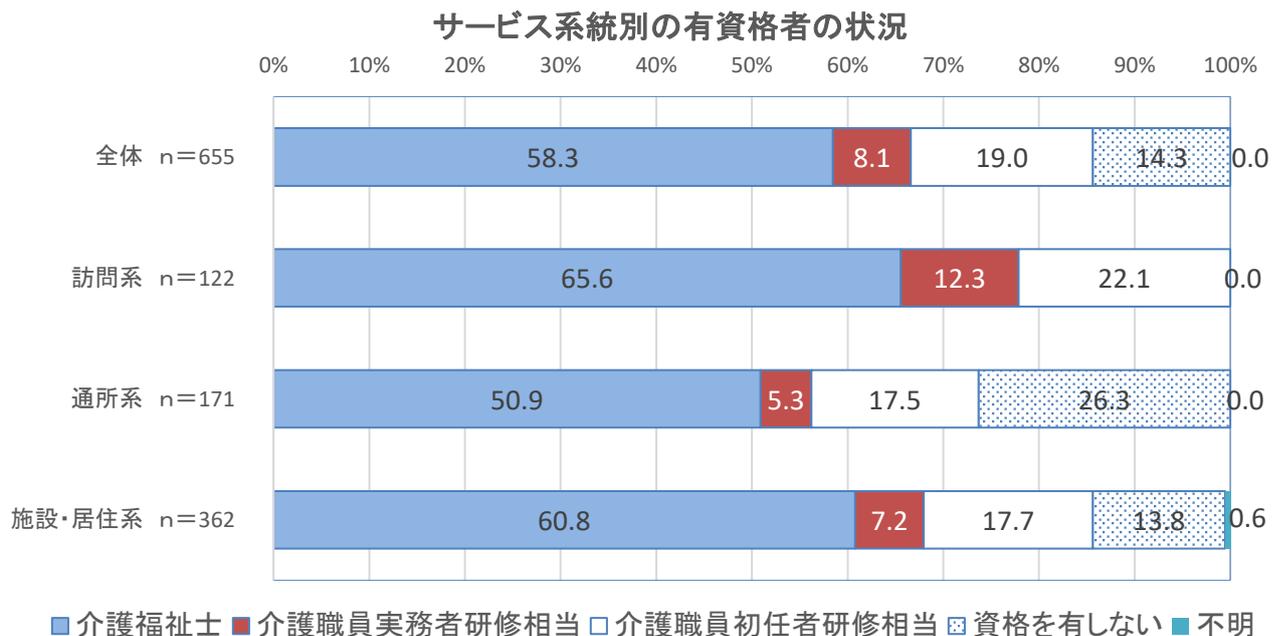
雇用形態 (人数)		正規職員	非正規職員
介護職員 (655)	100% (655)	71.1% (466)	28.9% (189)
男 (105)	16.0% (105)	90.5% (95)	9.5% (10)
女 (550)	84.0% (550)	67.5% (371)	32.5% (179)
訪問系 (122)	18.6% (122)	50.0% (61)	50.0% (61)
通所系 (171)	26.1% (171)	70.8% (121)	29.2% (50)
施設・居住系 (362)	55.3% (362)	78.5% (284)	21.5% (78)

◆サービス系統別の有資格者の状況

介護員の資格取得状況は、全体では「介護福祉士」が 58.3%、「介護職員実務者研修相当」が 8.1%、「介護職員初任者研修相当」が 19.0%で、資格所有者は 8 割となっています。

サービス系統別で「介護福祉士」の割合は、訪問系、施設・居住系が約 6 割、通所系では、約 5 割となっています。

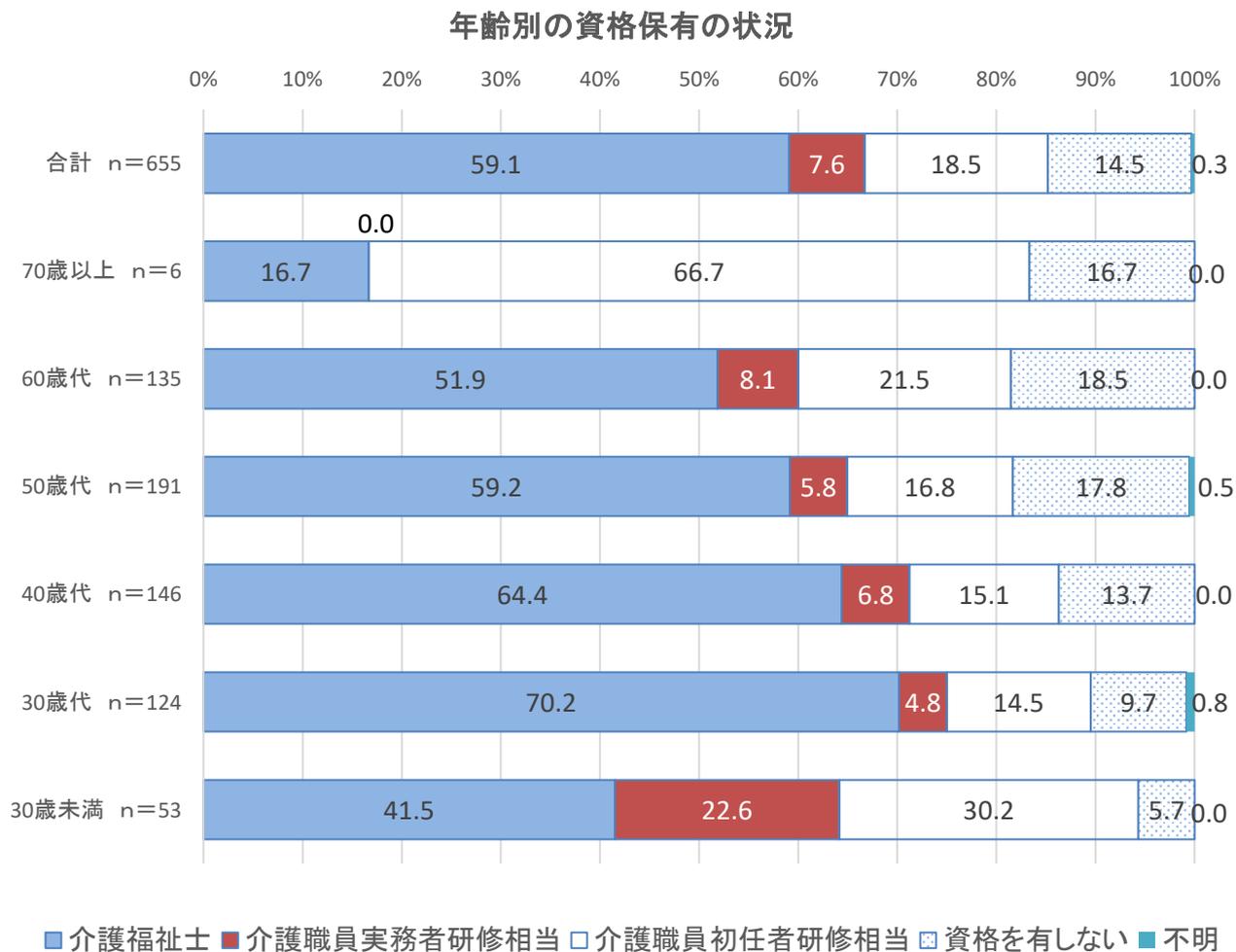
訪問系では、いずれかの資格取得者が 100%となっています。ただし、調査票の回収率が 100%ではないので、そのまま 100%であるかの確実性はありませんが、ほぼ資格取得されていると思われます。



◆年齢別の有資格者の状況

30歳代から60歳代の職員については、資格取得者が概ね同等程度の割合となっており、資格を有さない職員が約2割となっています。高齢になるにしたがって、介護福祉士の割合は減少していますが、30歳代から60歳代は、50%を超えています。

30歳未満の職員については、資格を有する職員が9割を超え、高い結果となっています。



### 3. 採用者について

問 2-3 問 2-4 過去 1 年間（H31. 1. 1～R1. 12. 31）の介護職員の採用者数

介護職員の採用時の年齢は、30 歳代が最も多くなっています。30 歳以下は 8.7%となっています。若年層の採用が少ない状況です。

採用者の雇用形態は、正規職員が 73.9%、非正規職員が 26.1%となっています。訪問系では、非正規職員の割合が 5 割と高い割合となっています。

#### ◆年齢構成

年齢構成 (人数)	20 歳未満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
介護職員 (46)	2.2% (1)	8.7% (4)	41.3% (19)	21.7% (10)	19.6% (9)	6.5% (3)	0% (0)
訪問系 (4)	0% (0)	0% (0)	100% (4)	0% (0)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
通所系 (14)	0% (0)	7.1% (1)	42.9% (6)	28.6% (4)	14.3% (2)	7.1% (1)	0% (0)
施設・居住系 (28)	3.6% (1)	10.7% (3)	32.2% (9)	21.4% (6)	25.0% (7)	7.1% (2)	0% (0)

#### ◆雇用形態

雇用形態 (人数)		正規職員	非正規職員
介護職員 (46)	100% (46)	73.9% (34)	26.1% (12)
訪問系 (4)	8.7% (4)	50.0% (2)	50.0% (2)
通所系 (14)	30.4% (14)	78.6% (11)	21.4% (3)
施設・居住系 (28)	60.9% (28)	75.0% (21)	25.0% (7)

#### 4. 離職者について

問 2-3 問 2-4 過去 1 年間（H31. 1. 1～R1. 12. 31）の介護職員の離職者数

介護職員の離職時の年齢は、30 歳代が 27.4%と最も多く、20 歳代 25.5%、40 歳代 25.5%とほぼ同じくらいの割合となっています。施設・居住系の離職者は、20 歳代が 33.4%と高い割合になっています。

##### ◆年齢構成

年齢構成 (人数)	20 歳未満	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
介護職員 (51)	0% (0)	25.5% (13)	27.4% (14)	25.5% (13)	5.9% (3)	13.7% (7)	2% (1)
訪問系 (9)	0% (0)	11.1% (1)	33.3% (3)	33.3% (3)	0% (0)	22.3% (2)	0% (0)
通所系 (9)	0% (0)	11.1% (1)	33.3% (3)	22.3% (2)	0% (0)	22.3% (2)	11.0% (1)
施設・居住系 (33)	0% (0)	33.4% (11)	24.2% (8)	24.2% (8)	9.1% (3)	9.1% (3)	0% (0)

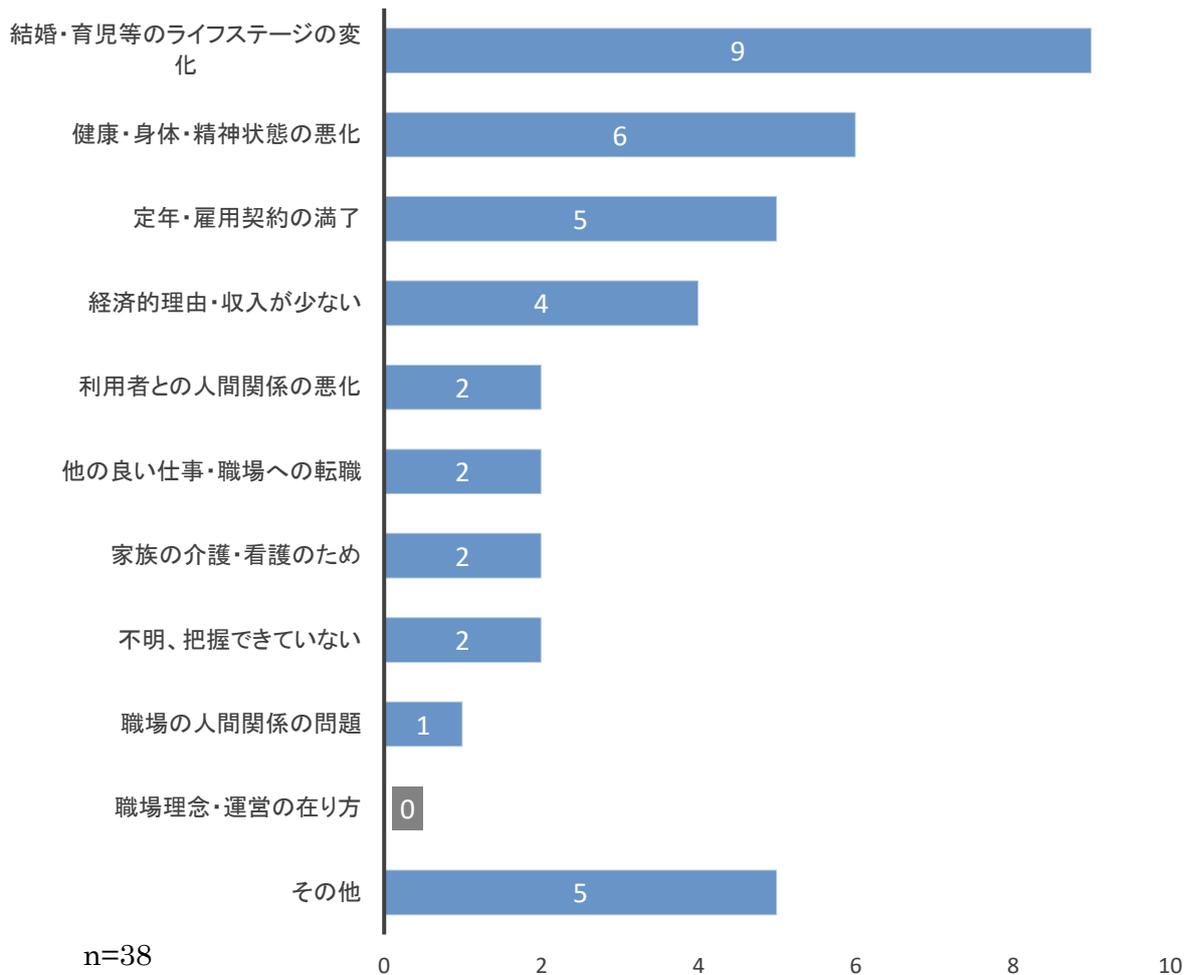
##### ◆雇用形態

雇用形態 (人数)		正規職員	非正規職員
介護職員 (51)	100% (51)	52.5% (37)	27.5% (14)
訪問系 (9)	17.6% (9)	55.6% (5)	44.4% (4)
通所系 (9)	17.6% (9)	55.6% (6)	44.4% (3)
施設・居住系 (33)	64.8% (33)	78.8% (26)	21.2% (7)

問 2-5 問 2-3 に該当する人で、貴事業所が認識している主な離職理由についてお答えください。(該当する項目に○)

事業所が認識している離職理由は、「結婚・育児等のライフステージの変化」が最も多く、次に「健康・身体・精神状態の悪化」が多くなっています。

「その他」にあげられた理由としては、「自己都合」と回答がありました。

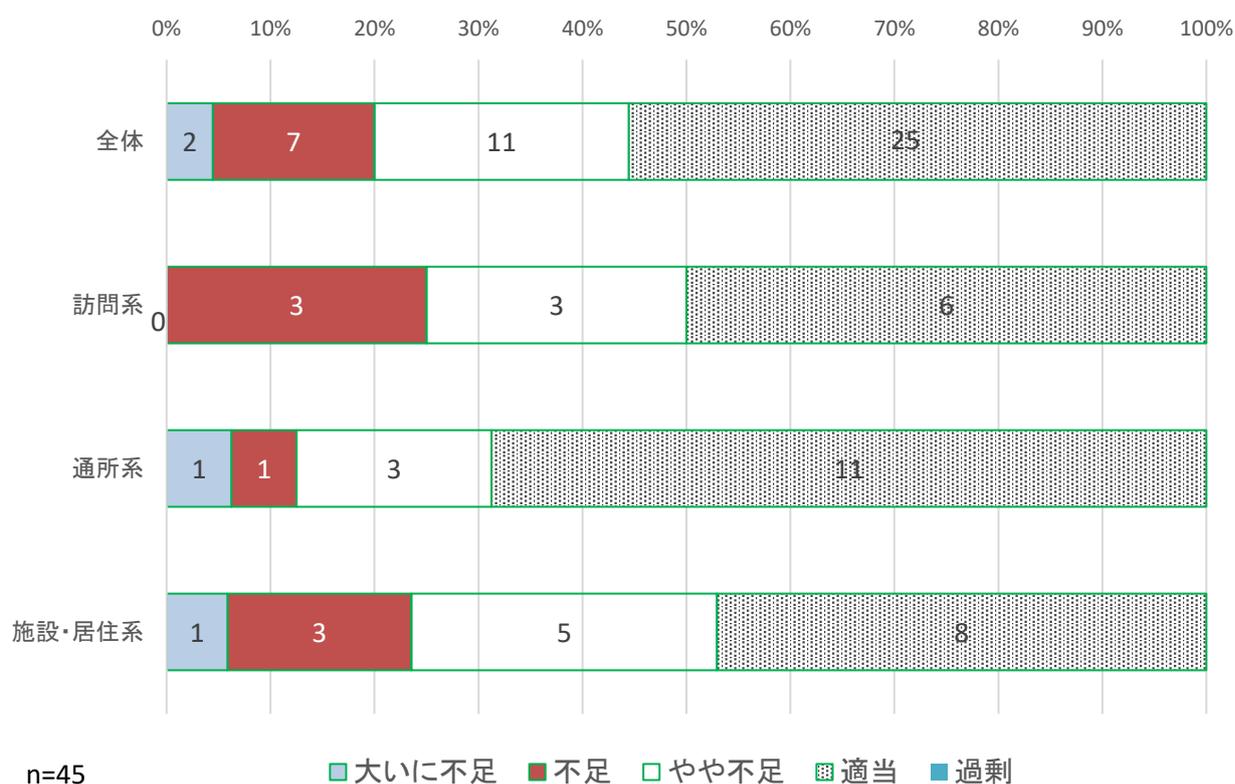


## 5. 過不足状況について

問3 貴事業所の現在の介護職員の定着状況についてどのように考えていますか。(○は1つ)

介護従事者の過不足状況について、不足（大いに不足+不足+やや不足）と答えた事業所は20事業所で、全体の44.4%を占めています。過剰と答えた事業所はありませんでした。

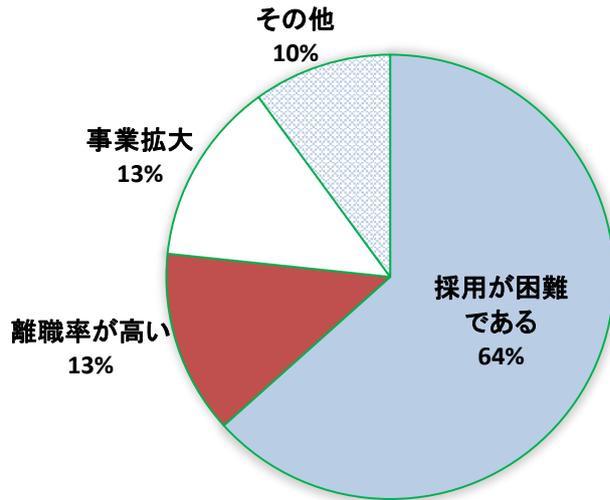
訪問系、施設・居住系は、5割が不足と答えています。



問4 問3で「大いに不足」「不足」「やや不足」のいずれかに○を付けた事業所で、不足している（注）理由はどれですか。（あてはまる箇所全てに○）（注）「不足している」とは、募集を必要としていること。

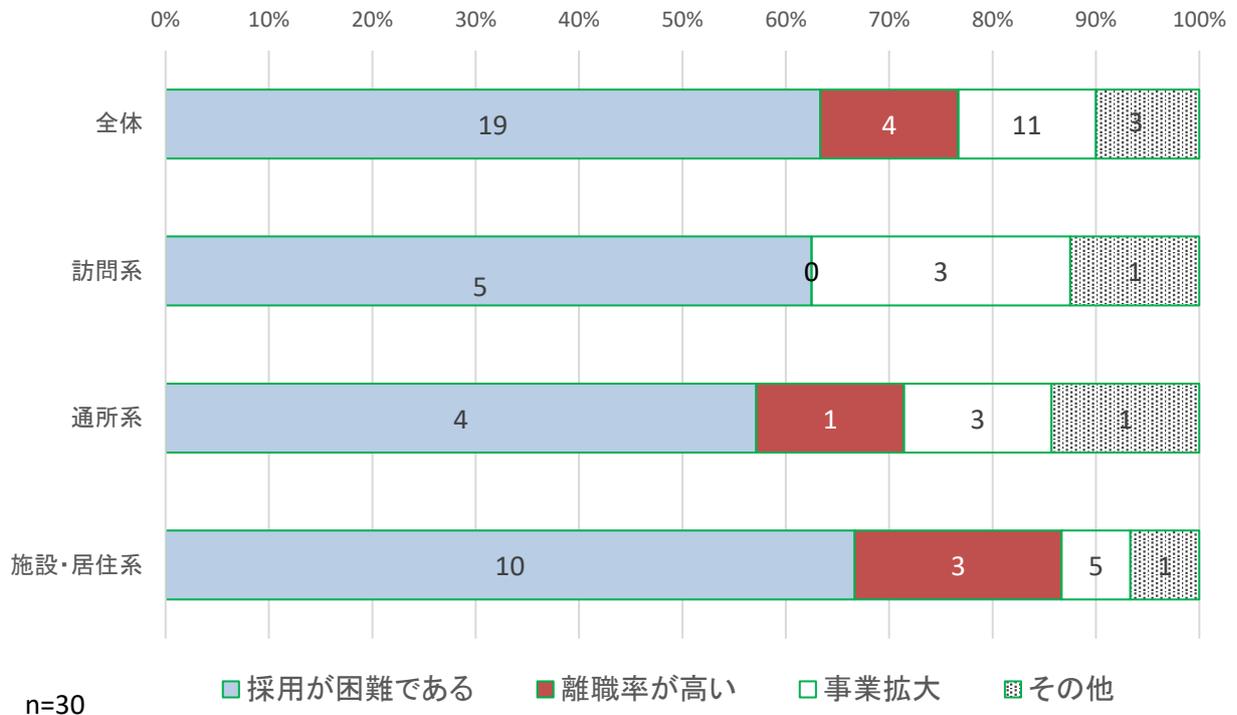
不足している理由は、「採用が困難である」が全体の64%を占めています。

「その他」にあげられた理由としては、「利用者の重度化」「通常業務に人員が足りていない」と回答がありました。



n=30

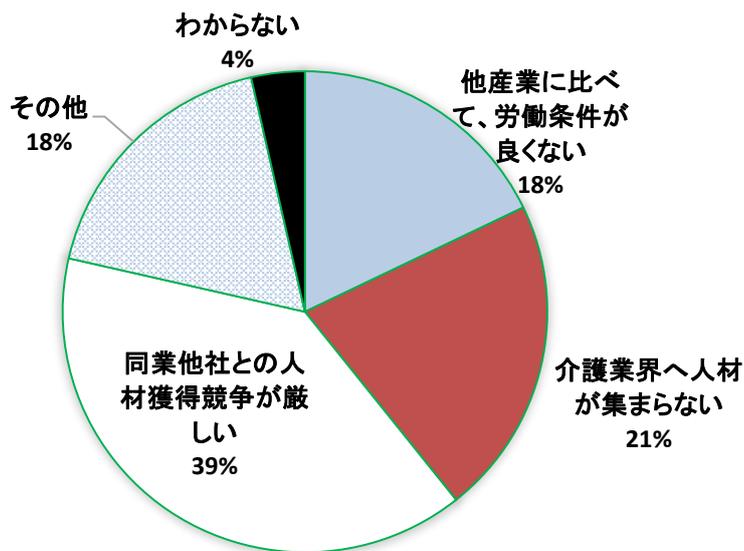
### 不足している理由・サービス別内訳



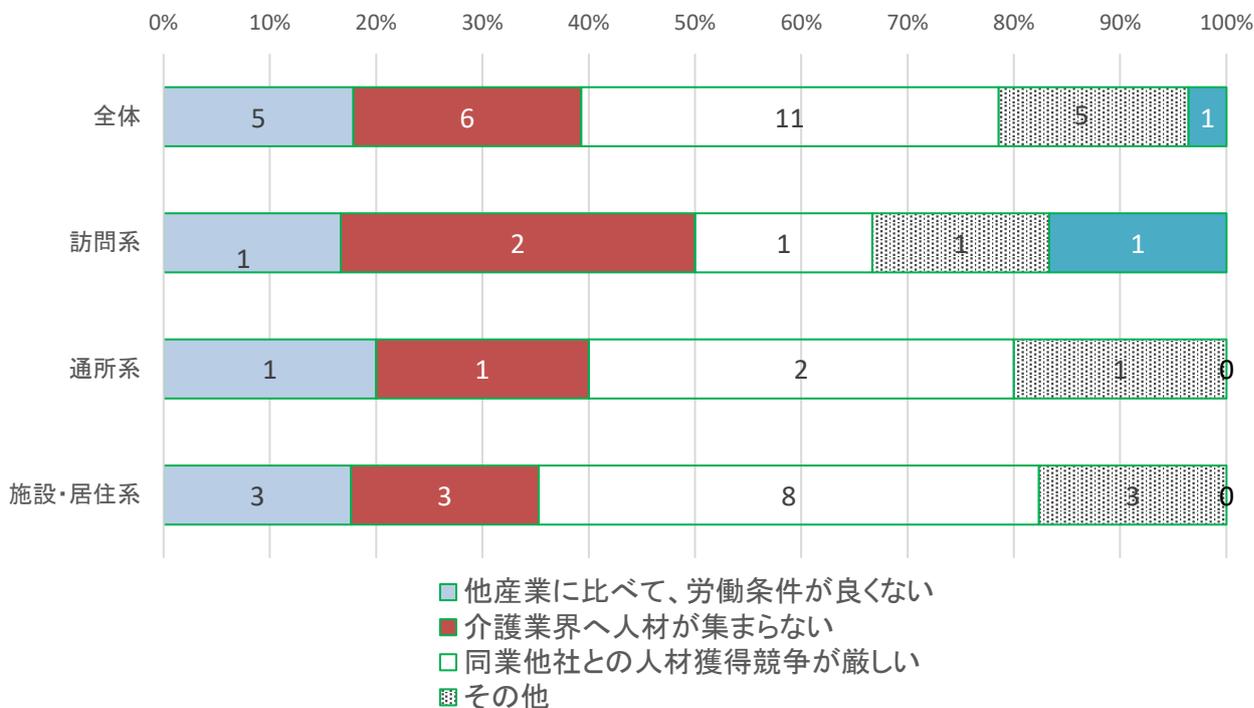
問5 問4で「採用が困難である」に○を付した事業所のみお答えください。原因は何にあるとお考えですか。(あてはまる箇所全てに○)

採用が困難である原因について、「同業他社との人材獲得競争が激しい」が39%で最も多く、次いで「介護業界へ人材が集まらない」が21%を占めています。

「その他」にあげられた事柄は、「人材自体が少ない」「就職はしてみるが介護は大変」「平戸市の労働人口の減少」「離島」となっています。



n=28



n=28

## 6. 行政に望むこと（意見等）

問6 今後、介護職人材に関し、市が取り組むべきことなどについてのご要望やご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

- ◇雇用後の状況確認。
- ◇若い人が定着するような、何らかの政策を。
- ◇介護職研修会及び事業所等への紹介。
- ◇職員が楽しく働ける職場環境づくり。
- ◇子供さんがいる方に働きやすい環境づくりと、子供さんから手が離れた方の採用。
- ◇介護相談の窓口を設置して欲しい。職場の人への相談はもちろんだが、仕事と無関係の第三者の意見を聞きたい。そういった窓口があるのであれば、世間にもっとPRして欲しい。
- ◇県北地区での研修を行って欲しい。佐世保や長崎となれば費用的な問題があり、参加の機会が減ってしまう。
- ◇数年前、たびら活性化施設で認知症についての研修会がありました。とても良い内容でした。その時の講師の先生にまた研修会を開いて欲しいと思います。
- ◇介護職員の定着は適当であるが、介護職の年齢層が高くなり、その後の補充採用が困難である。市が現在取り組んでいる平戸市介護職人材支援事業の情報発信を学校等にさらに行って欲しい。
- ◇人員は適当ですが、夜勤勤務者が不足。また、職員の高齢化も心配材料です。
- ◇平戸市への要望ですが、例えば、①介護することへの喜びをテーマにした講演会を回数多く行っていく。②介護の職業に就くことでのメリットとして、子育て中の若いお母さんが介護職についていると保育料の割引券が当たるとか、おむつやミルクの割引券が当たるとか、また、若い、中年にかかわらず、介護にかかわる仕事に就いていることで、旅行券が当たるとか、休暇券が当たる等の発想はいかがでしょうか。個人的な発想ではありますが、平戸市が独自でできる何かのヒントになり、全国に発信していけるものが見つかれば変わっていくのではないのでしょうか。各事業所でやるべきことかもしれません。現状は困難です。公的に立ち上がってもらいたいです。ロボットでどこまでできるでしょう。介護職を目指す若い方がもっと増えることを切に願っています。
- ◇若い人たちは、少しでも働きやすく、やりがいのある職場づくりが必要と思っています。給与の面でも、少しでもアップできるようにと検討しています。資格取得に向けても、資格取得すれば将来こうなっていますよとスタッフに説明したりしています。先日、高校での企業面談会の際、介護の仕事に意欲的な生徒さんが数名いらっしゃいました。話していてうれしくなりました。介護の仕事に興味を持っていただけるような機会を作ることと、企業面談会のような機会を繰り返すことしかないのでしょうか。
- ◇福祉に限らず、どの職種も人材不足と伺っています。福祉のみならず、若い世代が地元の魅力を感じて平戸市づくりできるよう、市は全体で考えて欲しいです。居心地（暮らし、仕事、遊び、買い物、食）が良ければ、誰でもそこで過ごすと思います。

8. 事業所の介護労働者の状況（個別労働者記入票）

問7 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

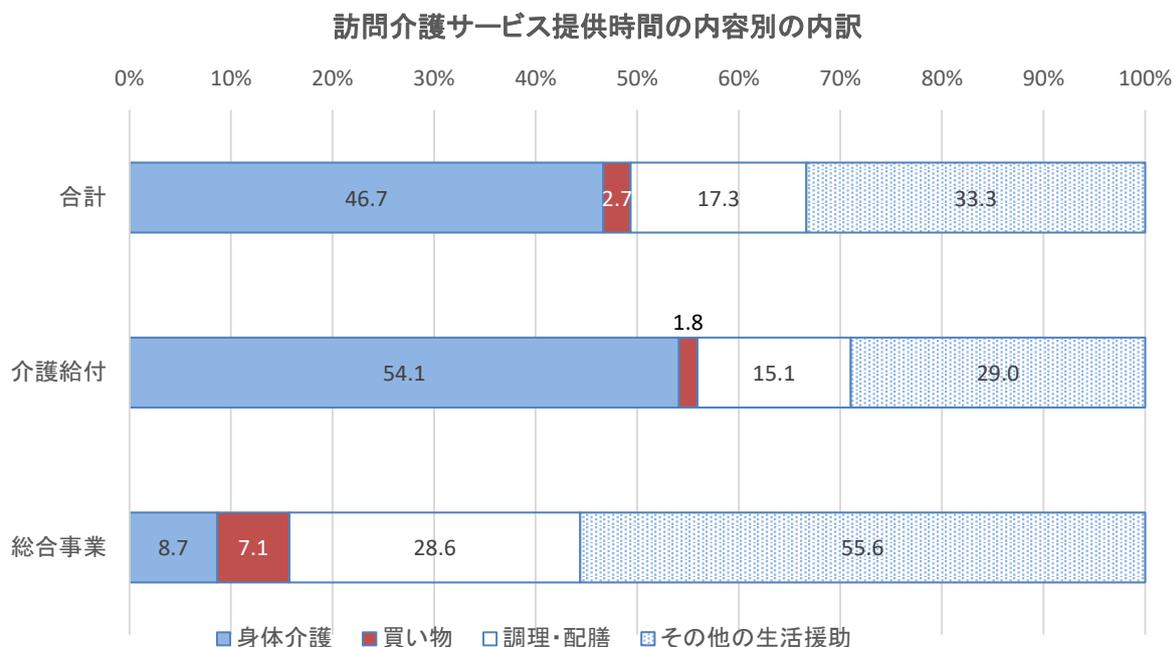
	人数	(1)資格の取得、研修の修了状況					(2)雇用形態		(3)性別				
		介護福祉士	介護職員実務者研修相当	介護職員初任者研修相当	左記資格を有しない	無回答	正規	非正規	男	女			
訪問系	122人	65.6%	12.3%	22.1%	0%	0%	50.0%	50.0%	7.4%	92.6%			
通所系	171人	50.8%	5.3%	17.5%	26.4%	0%	70.8%	29.2%	16.4%	93.6%			
施設・居宅系	362人	60.8%	7.2%	17.7%	13.8%	0.5%	78.5%	21.5%	18.8%	81.2%			
合計	655人	59.1%	7.6%	18.5%	14.5%	0.3%	71.1%	28.9%	16.0%	84.0%			
(4)年齢													
	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代						
訪問系	1.6%	6.6%	13.1%	14.7%	31.2%	31.2%	1.6%						
通所系	0%	5.2%	19.3%	26.9%	27.5%	19.9%	1.2%						
施設・居宅系	0%	9.4%	20.7%	22.6%	29.3%	17.4%	0.6%						
合計	0.3%	7.9%	18.9%	22.3%	29.1%	20.6%	0.9%						
(5)勤務時間(平均)		介護給付による訪問					介護予防給付・総合事業による訪問					(6)勤務年数	
	正規	非正規	身体介護	生活援助			身体介護	生活援助			1年以上	1年未満	
			買い物	調理・配膳	その他の生活援助		買い物	調理・配膳	その他の生活援助				
訪問系	34.2時間	25.1時間	372.3分	29.1分	177.2分	201.4分	82.5分	28.6分	86.9分	119.6分	97.5%	2.5%	
通所系	35.8時間	27.6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	90.6%	9.4%	
施設・居宅系	38.4時間	30.6時間	-	-	-	-	-	-	-	-	92.3%	7.7%	
合計	36.1時間	27.7時間									93.5%	6.5%	
※週当たりの平均時間													
(7)勤務する直前の職場								(8)直前の職場について					
	1 現在の職場が初めて	2 介護以外の職場	3 施設・居住系	4 訪問系(訪問介護・入浴、夜間対応型)	5 訪問系(小多機、看多機、定期巡回サービス)	6 通所系	7 住宅型有料、サ高住(特定施設以外)	8 その他の介護サービス	現在の施設等と同一市内	現在の施設等と、別の市区町村内	現在の施設等と、同一の法人・グループ	現在の施設等と、別の法人・グループ	
訪問系	4人	6人	15人	1人	1人	0人	1人	1人	13人	8人	7人	14人	
通所系	1人	9人	3人	1人	0人	2人	1人	1人	6人	1人	4人	3人	
施設・居宅系	4人	41人	27人	6人	2人	6人	1人	2人	25人	14人	17人	19人	
合計	9人	56人	45人	8人	3人	8人	3人	4人	44人	23人	28人	36人	
(9)賃金の支払形態				(10)平均賃金			(11)賞与<昨年1年間の額>						
	月給	日給	時間給	無回答	月額のある者 所定内賃金 (円/月)	日給のある者 所定内賃金 (円/日)	時間休のある者 所定内賃金 (円/時間)	賞与あり	賞与なし	無回答	平均賞与(円)		
訪問系	65.6%	1.6%	14.8%	32.0%	187,943円	回答なし	1,036円	42.6%	4.9%	52.5%	509,821円		
通所系	63.7%	0.6%	31.7%	0%	182,479円	回答なし	908円	59.6%	7.6%	32.8%	437,789円		
施設・居宅系	78.7%	0%	21.3%	0%	186,209円	-	841円	92.3%	7.7%	0%	530,995円		
合計	69.8%	0.5%	23.8%	5.9%	185,544円	-	928円	69.8%	0.5%	23.8%	492,868円		

## 9. 訪問介護サービス提供時間・内容について

### ◆訪問介護サービスの提供時間の内容別の内訳

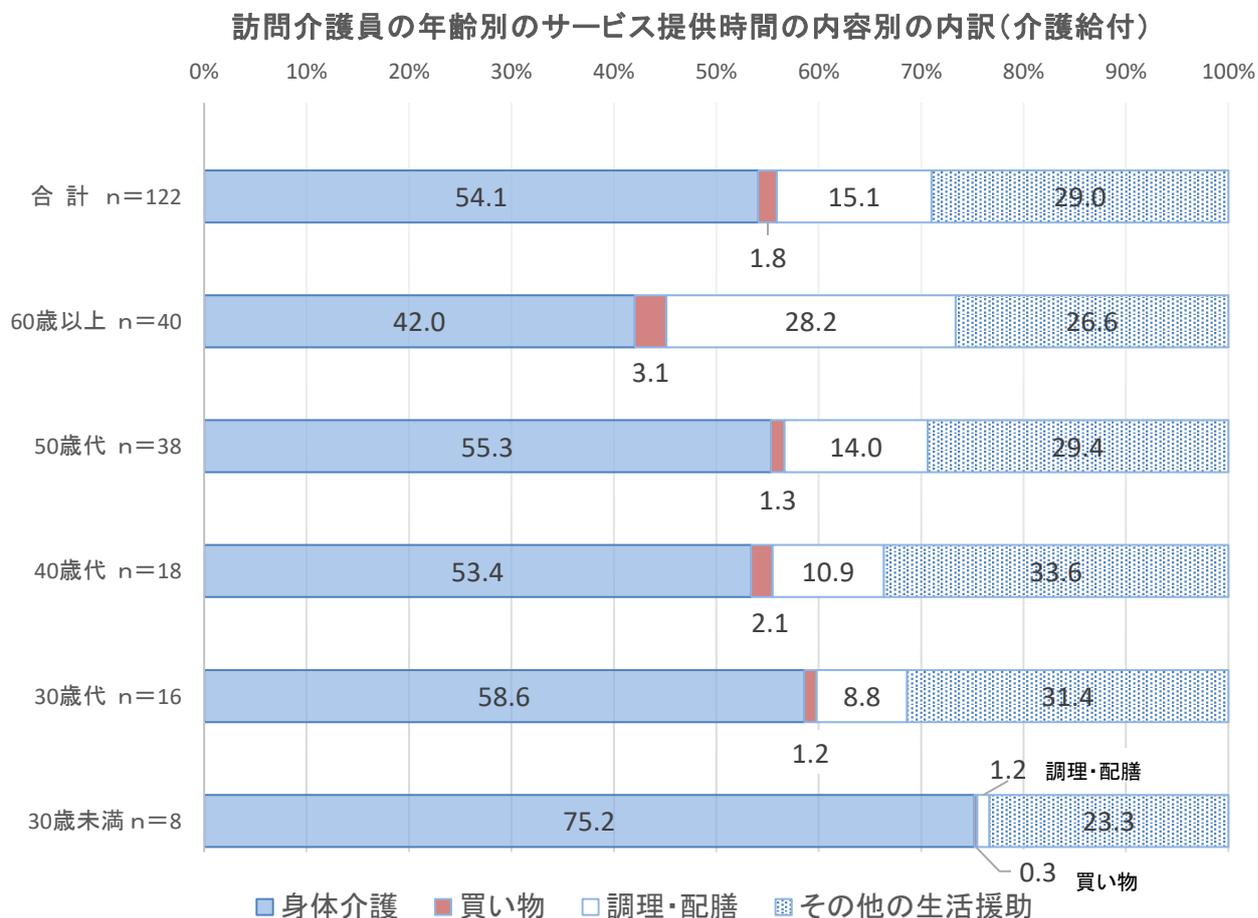
訪問介護のサービス提供時間について、「身体介護」、「買い物」、「調理・配膳」、「その他の生活援助」別に内訳を示しています。

全体では、身体介護が46.7%、買い物、調理・配膳、その他の生活援助が53.3%で、身体介護が5割以下となっています。



◆訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（介護給付による訪問介護）

訪問介護のサービス提供時間について、「身体介護」「買い物」「調理・配膳」「その他の生活支援」別の内訳ですが、30歳未満では、身体介護の占める割合が7割を超えているのに対し、30歳から50歳代では約5割、60歳以上では4割となっています。



◆訪問介護員の年齢別のサービス提供時間の内容別の内訳（総合事業による訪問介護）

30歳未満では、身体介護及びその他の生活援助がそれぞれ5割を占めていますが、30歳から50歳代における身体介護の割合は1割以下となっています。

